

かわら版



「人、伝統、自然……岩代の文化遺産や魅力を再発掘。これからも広く発信していきます」
〜大内英克さん〜

小浜で理美容院を営みながら、福島民報社「ふるさと記者」として岩代の情報や魅力を発信中。また「岩代小浜の歴史と文化を護る会」副会長として活動している大内さんに、地元への思いや活動内容、今後の抱負などについてうかがいました。

Q 記者を始めたきっかけは？

祖父の実家は西勝田の農家でしたが、農業をする体力に不安のあった祖父が分家して昭和6年に床屋を開業。その後、父が家業を継ぎ、ライカのカメラを購入し、地元の人や風景を撮り続けてきました。そんな父に新聞社から依頼が入るようになり、やがて「ふるさと記者」に。

私も子どもの頃からカメラに親しんできたので、自然な流れで父の後を引き継いで記者活動を始めることになりました。

Q 地元での活動と抱負は？

歴史好きの祖父から、小浜が栄えていた頃の話をよく聞かされました。その影響で私も地元の歴史に興味を持つようになり、ここに生まれ育ったことへの誇りも感じていました。

6年前、同じ思いを持つ地元の有志とともに、「光を当てたいものを掘り起こす」という活動目標のもと「岩代小浜の歴史と文化を護る会」を結成。

地域資源の整備をはじめ会津身不知柿のルーツが小浜だということの周知活動や、戦国時代の伝達手段「のろし」の復活、小浜町大火からの火防督励への協力など、市民を巻き込む行事を企画し実現してきました。小中学校でも年に何度か小浜



市ウェブサイトでカラー刷掲載中
大内さんが選んだ
小浜の魅力スポット

▶ さくら坂の花むしろ
文化ホール裏手にある桜並木の坂道。みんなでお花見をした思い出も



◀ 箱石・追猪の桜
樹齢300年もの古木。春には優しいピンク色に染まります



▼ 天狗塚・夏
天狗塚から眺める夕焼け。空が茜色に染まります



▲ 天狗塚・冬
安達太良山が美しく見える天狗塚ですが、冬には一面の雲海が幻想的です

Q 小浜での暮らしへの思いは？

「田舎には何もない、不便だ」と言われますが、利便性を追求するのが当たり前という風潮に疑問を感じています。伝統や人との絆を大切に生きて今の暮らしをとても豊かだと思っております。

現在、息子も一緒に理美容院で働いています。同級生の大半は地元を離れましたが、その親世代の常連さんが支えてくださっています。親子四代、ここで生業が続けられるのも地元の皆さんのおかげです。「人は財産」という言葉がありますが、まさにその通りですね。ありがたいです。活動を通し、地元へ恩返ししたいと考えています。

▶ 十万石山付近
山の尾根道沿いに、秋は稲のはせ掛けの光景が。霧が深いエリアでもあり、幻想的な光景が広がります



◀ 十万石山
長折字長杉地内の十万石山頂上から初日の出が楽しめます



▲ 小瀬川ダム
大正の建築様式。雰囲気のあるダムです

生活支援コーディネーター紹介



渡邊 光代です！

- ★血液型:楽天的なO型
- ★星座:芸術家肌の蟹座
- ★好きな花:ハナミズキ

今年度より社会福祉協議会の生活支援コーディネーターとして岩代地区担当となりました。私の仕事は、皆さんの地域に伺い、小さな支え合い活動などの情報を集めながら、地域の支え合いのネットワークづくりを住民の皆さんと一緒に進めていくための推進役です。ぜひ皆さんのお住まいの地域のことを教えてください。暮らしやすい地域づくりについて一緒に考えてみませんか。どうぞよろしくお願いいたします。



「かつて富士山に見える北限の山として紹介された日山は、私にとって裏庭のような親しみの岩代を愛する人がすすめる地元の魅力あるスポットを紹介。七回目は、田沢在住で日山散策が趣味の斎藤隆博さんです。

I Love Iwashiro ⑦ 日山(天王山)



ある場所です。成人してからも、季節ごとに登り、四季折々の自然を楽しんでいます。ある時は頂上からの朝日を見るために早起きし、またある時は、暗闇の中、満天の星空を眺めたこともあります。阿武隈山系の第二の秀峰日山の標高は1057メートル。山頂からは那須連峰をはじめ山々が織りなす雄大な風景が眺められます。また、以前は樹木が今よりも低く、牡鹿半島や太平洋も一望できました。山頂までのルートは全6コース。山頂から登り、原生林のある田沢登山口へ降りてきます。

茂原登山口から登り、原生林のある田沢登山口へ降りてきます。

参加者募集中！ ★メダカボトルアクア★ 創作体験ワークショップ

■開催日
6月12(土)・13(日)

■時間 両日共
受付 13:00～

開催 13:30～15:30

■場所 さくらの郷
体験交流施設

■参加費
1セット1,200円
(1日4組、1組4

人まで参加可。詳細はお問合せください)

■申込み&問合せ先 ☎68-4770
(地域おこし協力隊 内山まで)



◇紹介してくれた方◇ 斎藤 隆博さん

「キビタキ、ツツドリ、ミンサザイなども生息。鳴き方にも特徴がありますから、耳を澄ませてみてください。日山での風力発電計画案なども浮上しているようですが、この豊かな自然を破壊しないでほしいと切に願っています。」



春はツツジ、山桜、夏はウメバチソウ、秋は紅葉が美しく、高山植物や野生動物の宝庫。また、冬には雪の上にも小動物の足跡を見かけるのも楽しみです。山頂にはヒンカアカラと鳴くコマドリの姿も。鳥のさえずりに耳を傾け、草花を愛で、下界の景色を眺めるひととき。日山散策は、私にとって五感で自然を感じる時間です」

岩代の歴史シリーズ 小浜の子守り歌①

今年の三月、NHKEテレビの「にほんごであそぼう」で小浜の子守歌(旧安達町バージョン)が全国放送された。♪小浜の町に帯買いに♪この子守歌は、小浜を中心に旧安達郡や旧田村郡で歌われたもので、小浜のにぎわいの様子が聞き取れる。

小浜は、相馬・浪江と二本松を結ぶ街道沿いにあり、この地方の交通・商業の中心地であった。

福島地方裁判所小浜出張所(小浜、大平、新殿、旭、山木屋、針道、戸沢、木幡、太田の登記事務を取り扱っていた。)二本松土木事務所小浜出張所、実業銀行、羽二重工場、安達座をはじめ、大正期には一七三もの商店があり、にぎわっていた。しかし、……(以下次号へ)



イラスト: あんじゅま